



にぎわい東北

— つなげよう、ふるさとのチカラ

AEON

2019年2月26日
イオン株式会社

イオンは変わらず全国の皆さまと東北の復興・創生に取り組みます
東北のさらなるにぎわい創出を目指して
2021年目標のボランティア30万人・植樹30万本を前倒しで達成

2011年3月に発生した東日本大震災からまもなく8年をむかえます。イオンは、「にぎわい東北—つなげよう、ふるさとのチカラ」を合言葉に、地域製品の拡販、交流型の支援活動や植樹、商業施設における防災対策の強化などのさまざまな活動を通じ、東北の復興・創生、にぎわい創出に向けて、地域の方々とともに取り組み続けています。

3月には、「にぎわい東北」と題した東北の優れた商品を販売するフェアを、東北や関東を中心とするエリアで開催し、お買物を通じて東北を応援したいというお客さまと生産者の方々をつなぐことで、地域産業の活性化を目指します。

2012年にイオン労使で立ち上げた「イオン 心をつなぐプロジェクト」では、2021年までの10年間に、のべ30万人の従業員によるボランティア活動参加、東北沿岸部での合計30万本の植樹を目標に掲げて取り組んできました。

ボランティアについては、時間の経過とともに変化する各地域のニーズに対応しながら活動を続けた結果、2018年8月、目標より3年早く参加者が30万人を突破しました。本年も全国のグループ会社の従業員がそれぞれの拠点や東北各地で行う支援活動を通じ、年間3万人のボランティア参加を見込んでいます。

植樹活動については、3月9日（土）に実施する「仙台地区海岸防災林植樹」で、目標の30万本を達成します。同植樹を含め、本年は東北の11カ所で植樹を実施^{※1}する予定です。

また、同プロジェクトのもと2016年にスタートした「イオン 未来共創プログラム」では、これまで続けてきたボランティア活動などにより培ってきたネットワークをいかし、地域の方々と従業員が継続的に交流し、その地域の課題を共有、ともに解決に取り組むことで持続可能なコミュニティの再生を目指しています。岩手県釜石市では、苗木から育てたブドウをワインとして商品に、大槌町ではクレソンの栽培開始とそのブランド化を支援するなど、各地域の産業創生に向けた成果がうまれています。本年は、福島県の広野町をプログラム実施地域に加え、3県9地域^{※2}で活動していきます。

さらに、今夏、福島県双葉郡浪江町との「商業環境整備に関する覚書」に基づき、「イオン浪江店」（仮称）をオープンする予定です。日々の暮らしに必要な食品や日用品、家庭用医薬品を品ぞろえするとともに、地域の憩いの場となるような店舗を目指します。

イオンはこれからも、地域の皆さまと手を携え、東北の創生に向けて取り組んでまいります。

※1 主催のほか、共催、後援含む

※2 岩手県：釜石市・大槌町、遠野市米通地区、宮城県：気仙沼市大島、丸森町耕野地区、南三陸町
福島県：浪江町・二本松市、南相馬市小高区、鏡石町、広野町（新規）

にぎわい東北 ーつなげよう、ふるさとのチカラ

【東北の創生に向けた4つの方針】

1. 事業を通じた地域産業の活性化
2. 雇用の創出と働きやすい環境づくり
3. 地域の未来を“ともにつくる”環境・社会貢献活動
4. 安全・安心にさせるまちづくり



【2019年 取り組み事例】

1. 事業を通じた地域産業の活性化

東北の生産者の方々とともに商品開発に取り組み、展開品目や売上の増大を目指します。また店舗でのフェアなどの開催を通じ、東北の優れた製品の販路を拡大するとともに、全国のお客さまの東北を支援したいという想いをつなぎ、地域産業や経済の活性化を図ります。

■「にぎわい東北」フェア等（3月実施予定）

<「にぎわい東北」>

▶東北6県の産品 最大約400品目を販売

- ・店舗：イオンリテール（株）東北カンパニー 43店舗
期間：3月15日（金）～17日（日）
- ・店舗：イオンリテール（株）北関東カンパニー 41店舗
期間：3月7日（木）～10日（日）
- ・店舗：イオンリテール（株）南関東カンパニー74店舗
期間：3月15日（金）～18日（月）

▶特別催事実施店舗 最大約700品目を販売

- ・岩手県の産品を中心に販売
期間：3月7日（木）～10日（日）※セレモニー予定：3月9日（土）
店舗：イオンリテール（株）イオン与野店（埼玉県）
- ・福島県の産品を中心に販売
期間：3月7日（木）～10日（日）※セレモニー予定：3月9日（土）
店舗：イオンリテール（株）イオンスタイルレイクタウン
- ・宮城県の産品を中心に販売
期間：3月15日（金）～18日（月）※セレモニー予定：3月16日（土）
店舗：イオンリテール（株）イオンスタイル板橋

<「南相馬の元気を発信！」キャンペーン>

▶福島県南相馬市の産品の詰め合わせ販売、受注販売

- ・期間：3月9日（土）～11日（月）
- ・店舗：イオンスーパーセンター（株）イオンスーパーセンター南相馬店（福島県）

<みたと塩竈フェア>

▶宮城県塩竈市の産品 約100品目を販売

- ・期間：3月22日（金）～24日（日）
- ・店舗：イオンリテール（株）イオン熱田店（愛知県）

■合同見本市・商談会

イオングループ各社の従業員が東北地区のお取引先さまの商品への理解を深めるとともに、全国のバイヤーが一堂に会して商談を行い、東北産品の販路を全国、さらには世界に広げるための見本市を2012年より毎年開催しています。2018年は、約4,500人が来場しました。8回目となる本年の見本市は9月に開催予定です。



2. 雇用の創出と働きやすい環境づくり

被災地域への出店による雇用の創出と、事業所内保育施設の設置による働きやすい環境づくりに取り組むことで、皆さまが地元で安心して働ける環境の実現を図ります。

■事業所内保育施設の設置

イオンモール名取（宮城県）、イオンモールいわき小名浜（福島県）に、イオンの従業員、モールに出店いただいているテナントの従業員、さらに地域の方々もご利用いただける保育園として「イオンゆめみらい保育園」を設置しています。小さなお子さまをお持ちの方が安心して働ける環境づくりに貢献します。

※「イオンゆめみらい保育園」は、全国25カ所に設置、約730名のお子さまをお預かりできる環境を整えています。



イオンゆめみらい保育園
(イオンモールいわき小名浜)

3. 地域の未来を“ともにつくる”環境・社会貢献活動

地域の方々とともに環境・社会貢献活動に取り組み、東北の創生とまちづくりに寄与します。

■「イオン 心をつなぐプロジェクト」

2012年から2021年までの10年間に、のべ30万人の従業員によるボランティア活動、東北沿岸部での合計30万本の植樹活動を実施することを目標に掲げて取り組んできました。

ボランティア活動については、2018年8月に目標の30万人を突破し、2019年1月末時点では、32万3,194人が参加しています。

植樹活動については、2019年3月9日（土）に実施する「仙台地区海岸防災林植樹」にて、30万本を達成します。（2019年1月末時点の植樹本数は29万9,879万本）

<植樹した木々の様子 海岸防災林植樹(宮城県名取市)>



2014年



2019年

<仙台地区海岸防災林植樹> ※30万本記念植樹となります

日 時：3月9日（土）10：30～11：45

場 所：宮城県仙台市若林区荒浜地区（北山国有林内）

樹 種：シラカシ、ツバキ、コナラ他、合計6種類

本 数：121本

参加者：約60名

※プロジェクトの詳細は、WEBサイトでも公開しています。

<https://www.aeon.info/sustainability/kokoro/>

プロジェクトの10年間において、2018年から最終年の2021年までの4年間は、これまでの活動内容を整理し、より充実させていく期間と位置付けています。プロジェクト終了後も持続可能なまちづくりに貢献し、次代に引き継がれる活動を育てることを目指し、「地域課題の解決への集中と実践」をテーマに取り組んでいます。

本プロジェクトのもと、2016年にスタートした「イオン 未来共創プログラム」では、「持続可能な地域共同体の再生」が被災地における社会的課題のひとつであると捉え、グループ各社が交流型の支援活動をスムーズに行えるよう促す実践研修を実施しています。本年は、プログラムの活動地を1地域増やし、9地域で支援活動を進めます。

＜「イオン 未来共創プログラム」活動地・活動内容＞ (参加企業：2016～2018年の実績、五十音順)

活動地		内容	
岩手県	釜石市・大槌町	活動内容	地域産業の創出と障がい者の就労支援を目指し、「釜石ぶどう」と「大槌クレソン」の6次産業化に向けて取り組む
		参加企業	(株)イオンイーハート、イオンエンターテイメント(株)イオンタウン(株)、イオンリテール(株)トップバリュコレクション(株)(株)メガスポーツ
	遠野市米通地区	活動内容	限界集落地域の持続化に向け、どぶろくの商品化のためのどぶろく用の米づくりプロジェクトに参画する
		参加企業	(株)イオンイーハート、イオンコンパス(株)、イオン九州(株)イオン少額短期保険(株)、イオンスーパーセンター(株)(株)サンデー、マックスバリュ西日本(株)(株)メガスポーツ
宮城県	気仙沼市大島	活動内容	「北限のゆず」や三陸沿岸に自生するつばきの油を使った商品開発などを通じて、大島の活性化と魅力創出に取り組む
		参加企業	イオンエンターテイメント(株)、イオン少額短期保険(株)イオンプロダクトファイナンス(株)、イオンバイク(株)イオンモール(株)、イオンライフ(株)、イオンリテール(株)(株)ジーフット、ブランシェス(株)、R. O. U(株)
	丸森町耕野地区	活動内容	中山間地域の抱える課題を学びながら、名産のたけのこや干し柿などのブランド化を推進する
		参加企業	イオンスーパーセンター(株)、イオン少額短期保険(株)イオンディライト(株)、(株)イオンファンタジーイオンプロダクトファイナンス(株)イオンモール(株)、イオン琉球(株)、(株)ツヴァイ
	南三陸町	活動内容	FSC認証 ^{※1} の「南三陸杉」を育む森や、ASC認証 ^{※2} 牡蠣などの取り組みを学び、広く発信する ※1：環境や地域社会に配慮した管理、伐採が行われている森林の認証 ※2：環境や社会に配慮した養殖場で生産された水産物の認証
		参加企業	(株)イオンイーハート、イオンコンパス(株)、イオンタウン(株)、イオンモール(株)、イオンリテール(株)、R. O. U(株)
福島県	浪江町・二本松市	活動内容	まちに戻り、伝統を引き継ぐ取り組みや新たな挑戦に取り組む方々を支援する
		参加企業	イオンリテール(株)、(株)光洋、(株)コックス(株)山陽マルナカ、
	南相馬市小高区	活動内容	にぎわいを復活させるイベントへの参画や、高校生とのお弁当開発プロジェクトを通じ、まちづくりを支援する
		参加企業	イオンアイビス(株)、イオン九州(株)、イオンドットコム(株)イオンファンタジー(株)、イオンフードサプライ(株)イオン北海道(株)、イオンマーケット(株)イオンリテール(株)マックスバリュ関東(株)、マックスバリュ北海道(株)ミニストップ(株)、R. O. U(株)
	鏡石町	活動内容	風評被害の実態を学び、米や桃、りんごなど、福島の多くの特産品を持つ「福島の食」を全国に届ける支援を行う
		参加企業	イオンスーパーセンター(株)、マックスバリュ南東北(株)
	広野町 *2019年 新規	活動内容	広野町で栽培に挑戦している、バナナ・パパイヤ・マンゴーなどの熱帯の果物を使い、高校生と協力したスイーツづくりや、ものづくりに取り組む
		参加企業	2019年新規活動として順次決定

＜「イオン未来共創プログラム」による「南三陸杉」の活用＞

「イオン未来共創プログラム」では、震災で甚大な被害を受けた南三陸町において、持続可能な林業・漁業、環境と経済の両立をテーマに地域の方々との交流を行っています。そのなかで、F S C 認証取得※をはじめとする「南三陸杉」の管理と普及に向けた取り組みについて学んだことから、お客さまにも「南三陸杉」を実際に見て、触って楽しむとともに、町の復興を感じていただきたいとの想いを込め、4月にリニューアルオープンするイオンスタイル名取（宮城県）のイートインコーナーに同杉材を活用したテーブルなどを設置します。



イートインコーナーのテーブル
(イメージ)

※2015年に南三陸森林管理協議会がF S C 認証を取得

■東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」

2012年から実施している東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」について、本年は3月9日（土）～11日（月）に実施します。全国のグループ各社約2,100店舗で、期間内にお客さまから投函いただいたお買い上げレシートの合計金額の1%を岩手県、宮城県、福島県の被災された子どもたちの生活・就学支援のための基金に寄付します。



■「イオン社会福祉基金※」より障がい者福祉施設に福祉車両を贈呈

労使一体となって運営する「イオン社会福祉基金」は、障がいをお持ちの方々の自立に向けた活動に役立てていただくため、福祉車両の贈呈などを行っています。

2018年は、福島県と宮城県の2つの施設に福祉車両を1台ずつ贈呈しました。本年も、福島県の施設に贈呈する予定です。



※「イオン社会福祉基金」：全国の障がい者の方々の自立と社会活動への参加促進、福祉の向上を図ることを目的として1977年に設立。現在グループ91社約69,100名が加盟しています。労使双方が一人あたり毎月50円ずつ（合計100円）を積み立て、「福祉車両の贈呈」「ボランティア活動」を柱とした社会福祉活動を行っています。

■宮城県石巻市での植樹活動

公益財団法人イオン環境財団は、9月に「イオン 心をつなぐプロジェクト」と共同で「石巻南浜津波復興祈念公園」で植樹を実施します。同公園は、震災による津波と火災の延焼で400名もの方々が犠牲になった地に位置しています。国営の追悼、祈念施設などを含む復興のシンボルとして国、宮城県、石巻市による整備が進められています。

地域の方々とともに復興への願いを込め、本年より3年間で25,000本を植樹する予定です。

■福島県の子どもたちを自然あふれる環境へ招待

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、2016年から実施している「福島キッズ森もりプロジェクト」の8回目を2019年3月1日（金）から3日（日）、9回目を3月15日（金）から17（日）に実施します。同プロジェクトは、震災以降外遊びの不足、自然体験不足が案じられる福島県の子どもたちを森林セラピーの先進地として知られる

「アファンの森」(長野県信濃町)に招待し、身体を動かし、自然に親しむ機会を提供する取り組みです。夏から秋にかけては過去に参加した子どもたちの再訪プログラムを実施する予定です。

■障がい者ものづくり応援募金

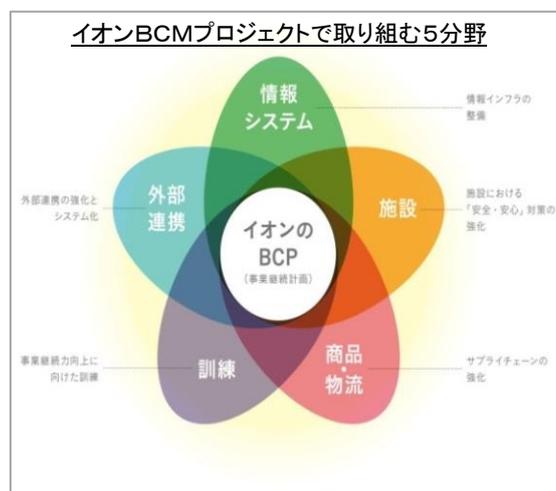
公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、東北の復興と活性化を支援するため、2013年に「障がい者ものづくり応援募金」を開始しており、本年は2月9日(土)から3月10日(日)まで実施しています。募金は、「認定NPO法人難民を助ける会」を通じ、岩手県、宮城県、福島県の障がい者就労支援事業所に届けられ、障がい者の方々の方々のさらなる自立と社会参加の支援に役立てられています。

4. 安全・安心にくらせるまちづくり

東日本大震災の経験をもとに、防災体制を強化し、安全・安心にくらせるまちづくりに貢献します。

■イオングループBCM(事業継続マネジメント)プロジェクト

2016年に策定した「イオングループBCM 5カ年計画」のもと、「イオンBCMプロジェクト」を始動し、①情報インフラの整備 ②施設における安全・安心対策の強化 ③商品・物流におけるサプライチェーンの進化 ④事業継続能力向上に向けた訓練計画の立案と実行 ⑤外部連携の強化とシステム化の5つの分野に重点的に取り組んでいます。同年には内閣官房国土強靱化推進室が創設した「レジリエンス認証」の第1回取得団体としていち早く認証を取得しています。



■防災拠点の拡大

災害時にショッピングセンターを防災拠点として利用いただけるよう、全国の店舗において、自家発電施設などエネルギー供給体制を確保するなどの安全対策を強化しています。2020年までに全国100カ所の防災拠点化を目指しており、2019年1月末現在で51カ所の拠点としての整備が完了しました。

■福島県双葉郡浪江町に2019年夏「イオン浪江店」(仮称)を開店

2019年2月19日に、イオンリテール(株)が浪江町と「商業環境整備に関する覚書」を締結しました。浪江町の皆さまの帰還を促進するため、商業環境整備などに関して相互協力していきます。同覚書に基づき、2019年夏に「イオン浪江店」(仮称)のオープンを予定しています。日々の暮らしに必要な食品や日用品、家庭用医薬品を品揃えするとともに、店内にはイトインコーナーを設置するなど、地域の憩いの場となるような店舗を目指します。